

日本体育大学大学院体育科学研究科博士学位論文 評価基準

1. 審査体制

博士論文の審査員の構成は、研究指導教員を主査とし、副査を2名以上、計3名以上とする。

2. 評価項目

- ① 体育スポーツ科学分野の国内外の研究動向の把握および実践における諸課題に基づいて、体育スポーツ科学分野における当該研究の意義や位置づけが明確に述べられていること
- ② 体育スポーツ科学分野の発展および実践に寄与するオリジナルな研究成果が含まれていること。
- ③ 研究倫理を遵守するとともに、研究公正についての十分な知識に基づいていること。
- ④ 研究結果の信頼性が十分に検証され、考察が妥当であるとともに、結論が研究結果に基づいていること
- ⑤ 研究の背景、目的、方法、結果、考察、結論等が体育スポーツ科学分野の博士論文に相応しい形式にまとめられていること
- ⑥ 事前に論文予備審査に合格するとともに、博士学位申請論文公開発表会で発表していること。

3. 評価基準

日本体育大学大学院学則等の学内の諸規程に規定された要件を充足した上で、博士学位論文が上記の評価項目について妥当と認められ、かつ最終試験によって下記の基準を満たすことが確認され合格と判定されること。

- ・ 博士学位論文において、体育スポーツ科学分野における新たな学術的あるいは実践的知見が十分に含まれる。
- ・ 体育スポーツ科学分野で自立した教育者および研究者として活動するに必要な高い能力を有する。